

自然災害への準備

まごひち瓦版

ライフスタイルに関する情報をもっと知りたい
貴方にお届けする地元企業発行のかわら版です

記録的な〇〇、史上最悪の〇〇、歴史的な〇〇、観測史上初の〇〇、過去最大級の〇〇、メガ〇〇。右に上げた表現はここ数年、世界で起きた自然災害に付けられた形容詞です。冬の大寒波、干ばつ、熱波、サイクロン、竜巻、台風、森林火災、このような「異常気象」と呼ばれる事象には気象庁においては定義があり『ある場所（地域）のある時期（週、月、季節）において30年に1回以下で発生する現象』とされています。ところが、近年では30年に1回ではなく、毎年近い頻度で起きています。すでにご周知のことではあります。異常気象の多くは気候変動が原因といわれており、**自然要因**と**人為的要因**の2つがあります。**自然要因**は太陽活動の変化や、大気や海洋の変動が知られています。

と共に、放出される二酸化炭素量の急増が、大気中の温室効果ガスのバランスを崩し地球温暖化を加速させています。人為的要因を減少させるために、世界規模で取り組んでいるのが、温室効果ガスの低排出社会を目指す取り組みです。生産活動を担う企業の場合、温室効果ガスの排出削減や低炭素、省エネ製品の開発などが分かり易いですね。一人一人が可能な取り組みとしては、リユース・リデュース・リサイクル・リペアという言葉が示すような、無駄を省き資源を活かすエコなライフスタイルを送ることでしょうか。こういった、人為的要因とは全くかけ離れた自然災害が元日に能登半島で起きた地震です。どんなに環境保全に努めていても、地震の様な自然災害には手も足も出ません。ニュースで映る震源地付近の揺れの最中に

防災袋を持ち出す余裕はなかったかもしれせん。地面が数メートル隆起する地殻変動の中では、家具の転倒防止金具も役に立たなかったかもしれせん。ですが、震源地から離れた場所では防災袋や転倒防止金具に守られた人も多くおられたことと思います。比較的、自然災害が少ない奈良県北西部にある孫七瓦工業では、事務所の家具に転倒防止の突っ張り棒を付けています。防災食も一定数準備して一覽表が良く見える場所に貼られています。防災食には消費期限があるので、それも考慮して期限が来ると新しく詰め替えます。



さて、皆様はどのような準備をされていますか。お住まいの地域のハザードマップや避難場所を確認した事はありますか？奈良県では県のホームページで各市町村のハザードマップが確認出来ます。浸水想定区域や土砂災害警戒区域、ため池ハザードマップなどが色分けされて分かり易く出来ています。ご自身のお住まいがどのような場所にあるかを知り、どういった準備が必要かを考える参考になるとと思います。

スマホでも確認しやすいようにQRコードを作りました。
奈良県ハザードマップ <https://www.pref.nara.jp/59224.htm>
市町村の防災ページやハザードマップに移動できます。

奈良県防災ハンドブック <https://www.pref.nara.jp/secure/211756/josei-hb.pdf>
女性視点の防災ハンドブックのページに移動できます。



普段から読んでおくと、防災備品の買い物のときや避難準備の知識が身に付くと思います。